報道関係者各位

PRESS RELEASE
2026.11.12
レバレジーズ株式会社

キャリアチケット就職
PRODUCED BY Leverages

就活中の28卒のうち8割超が抱く就活不安
「高校生の時から不安」の声も

【28卒】就活実態調査



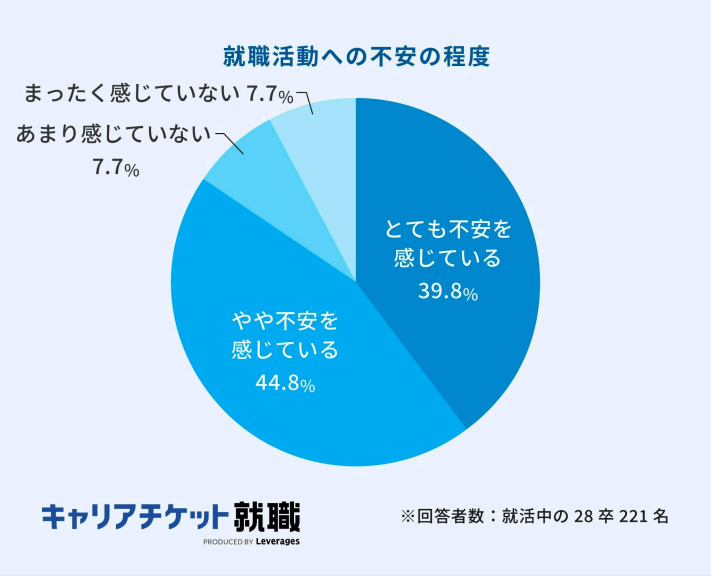
レバレジーズ株式会社が運営する新卒向け就職支援サービス「キャリアチケット就職（https://careerticket.jp ）」は、2028年3月卒業予定の大学生・大学院生359名を対象に就職活動の実態調査を実施しました。

＜調査サマリー＞

1. 就活に不安を抱く28卒の4割超が「大学2年以前」から不安を実感、高校生から抱く層も
2. 不安の最多要因は「やりたいこと・自分に合う企業が分からない」、不安が強まる場面は他の学生との比較に集中
3. 28卒の企業選びの軸は「仕事内容」が約6割で最多、選定理由は「無理なく健康に働き続けたい」

1.就活に不安を抱く28卒の4割超が「大学2年以前」から不安を実感、高校生から抱く層も

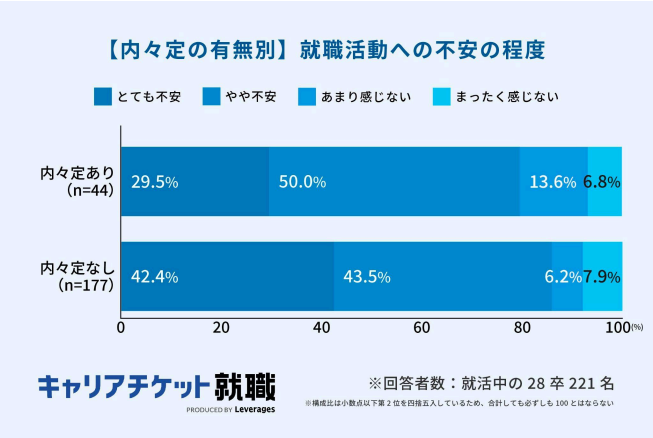
就職活動中の28卒学生に不安を感じているかを聞いたところ、「とても不安を感じている（39.8%）」「やや不安を感じている（44.8%）」を合わせた84.6%が不安を感じていると回答しました。不安を感じていない就活中の28卒学生は15.4%にとどまります。

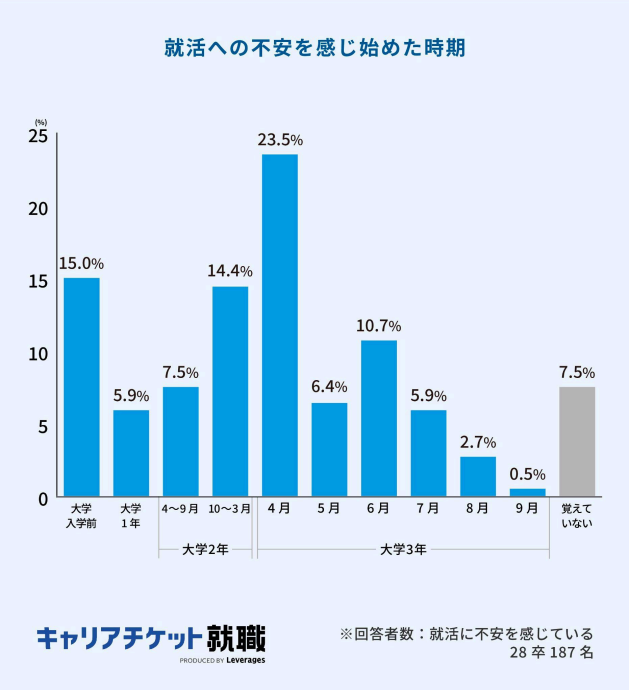


内々定の有無別に見ると、内々定を持つ学生でも79.5%*1が不安を感じており、内々定を持たない学生の85.9%*2との差は6.4ptにとどまりました。「とても不安を感じている」と回答した割合においては差が顕著に見られ、内々定を持たない学生が42.4%、内々定を持つ学生が29.5%と12.9ptの開きがあります。

不安を感じ始めた時期は「大学3年4月（23.5%）」が最多となりました。一方で「大学入学前（15.0%）」と回答した学生も約7人に1人存在しており、大学2年までに不安を感じ始めた学生は42.8%*3にのぼります。「大学入学前」、すなわち高校生の時期から就職活動に不安を感じる層が出現している背景には、昨今の就職活動の早期化が影響していると考えられます。

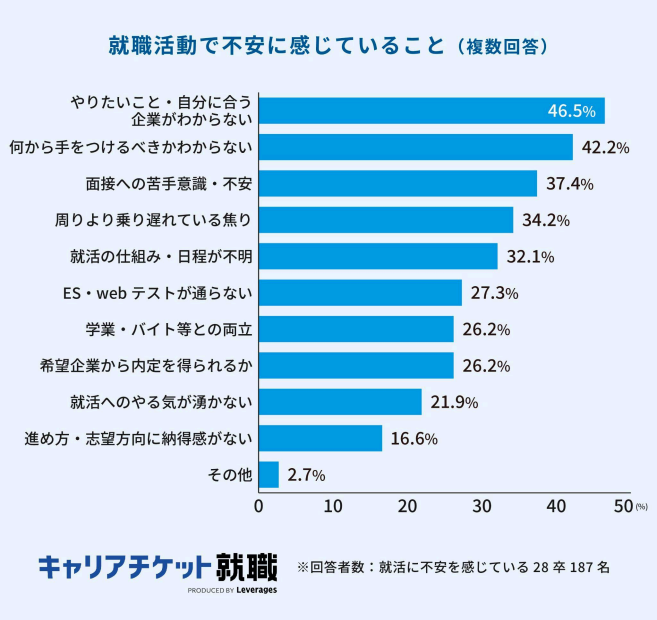
*1 内々定ありのうち「とても不安を感じている（29.5%）」「やや不安を感じている（50.0%）」の合計
*2 内々定なしのうち「とても不安を感じている（42.4%）」「やや不安を感じている（43.5%）」の合計
*3 大学入学前（15.0%）、大学1年（5.9%）、大学2年4～9月（7.5%）、大学2年10～3月（14.4%）の合計



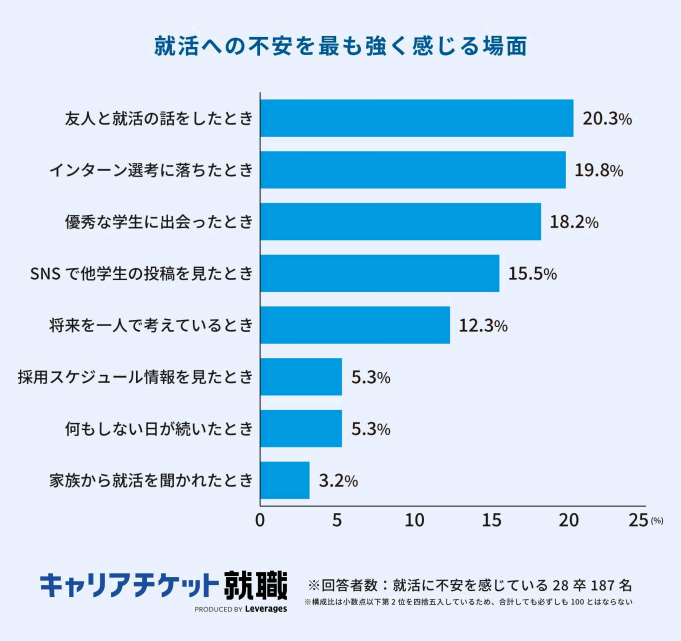


2.不安の最多要因は「やりたいこと・自分に合う企業が分からない」、不安が強まる場面は他の学生との比較に集中

　具体的に何に不安を感じているかを聞いたところ、「やりたいこと・自分に合う企業が分からない（46.5%）」が最多となり、次いで「何から手をつけるべきか分からない（42.2%）」が続きました。「面接への苦手意識・不安（37.4%）」は3位で、選考そのものへの不安よりも、目指す方向や進め方が定まらないことへの不安が上位を占めています。



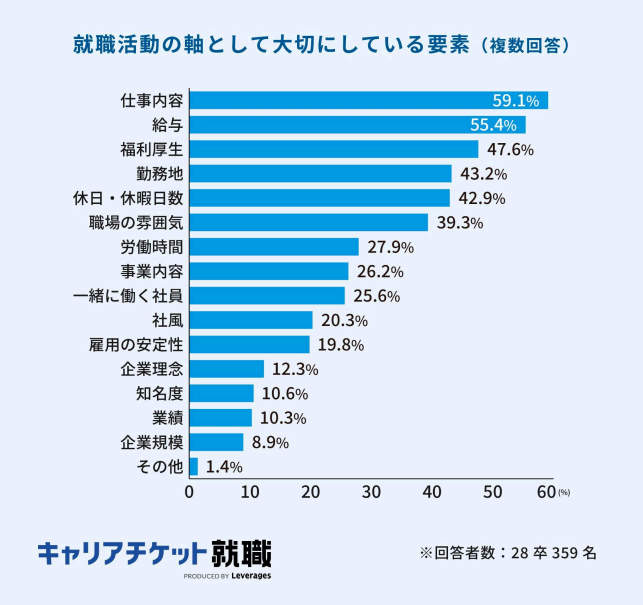
不安を最も強く感じる場面としては「友人と就活の話をしたとき（20.3%）」が最多となりました。次いで「インターン選考に落ちたとき（19.8%）」「優秀な学生に出会ったとき（18.2%）」「SNSで他学生の投稿を見たとき（15.5%）」が続き、他の学生と自分を比べる場面が上位に集中しています。

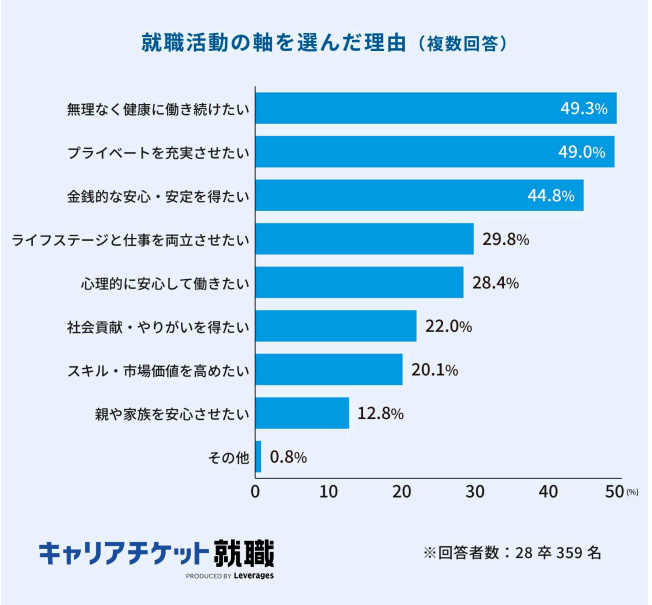


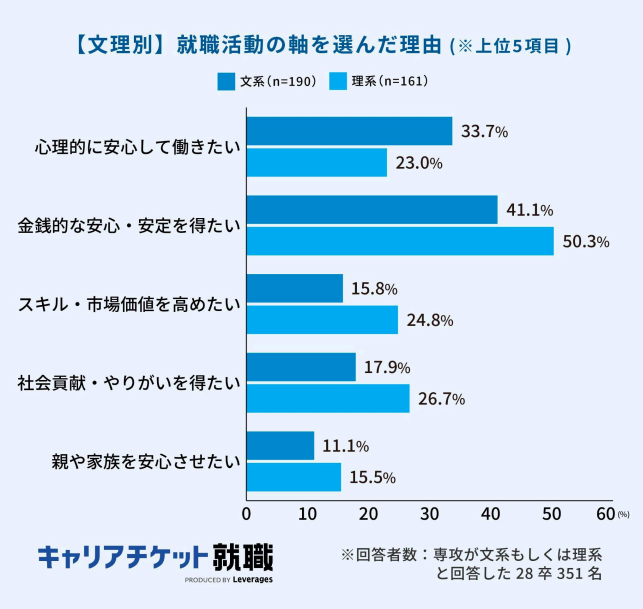
3.28卒の企業選びの軸は「仕事内容」が約6割で最多、選定理由は「無理なく健康に働き続けたい」

企業選びの軸としては「仕事内容（59.1%）」が最も多く挙げられました。就職活動の軸を選んだ理由については「無理なく健康に働き続けたい（49.3%）」「プライベートを充実させたい（49.0%）」が続き、「スキル・市場価値を高めたい（20.1%）」を大きく上回っています。仕事内容を重視しつつ、その判断基準は長く続けられるかどうかに置かれている実態がうかがえます。

また、文理別で比較すると、就職活動の軸を選んだ理由にそれぞれの特徴的な傾向が見られました。文系では「心理的に安心して働きたい（33.7%）」が理系（23.0%）を10.7ポイント上回り、職場環境や精神的な安心感を重視する姿勢が見受けられました。一方、理系では「金銭的な安心・安定を得たい（50.3%）」が半数を超えたほか、「社会貢献・やりがいを得たい（26.7%）」や「スキル・市場価値を高めたい（24.8%）」でも文系をそれぞれ約9pt上回りました。専門性を活かしたスキルの習得やキャリア形成、それに応じた対価や社会への還元を意識している様子がうかがえます。

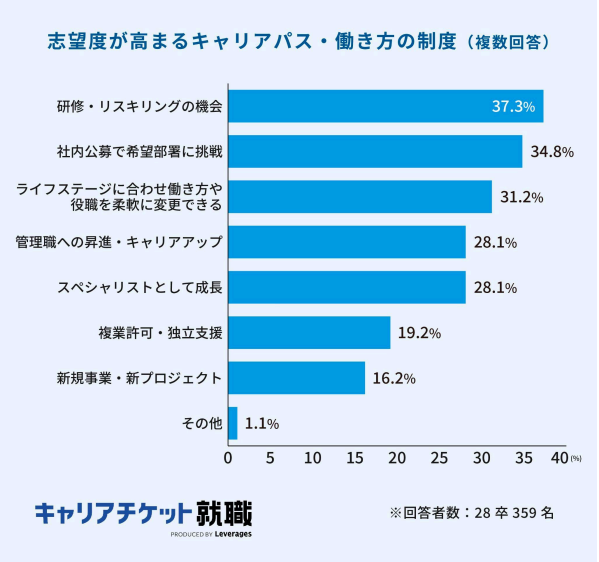






志望度が高まる企業の制度面では、「研修・リスキリングの機会（37.3%）」「社内公募で希望部署に挑戦（34.8%）」が上位に挙がりました。「教育を受ける機会」だけでなく、「自ら手を挙げてキャリアを切り拓ける環境」にも魅力を感じていることが分かります。

さらに、昇進を目指す「管理職志向（28.1%）」と専門性を磨く「スペシャリスト志向（28.1%）」が同率となっていることや、31.2%が「ライフステージに応じた柔軟さ」を求めていることからも、多様なキャリアパスが用意され、かつそれを自ら選択できる柔軟な組織づくりが採用競争力につながると考えられます。



〈キャリアチケット事業本部 本部長　手賀 亮汰のコメント〉

今回の調査から、就職活動中である28卒の84.6%が不安を抱え、内々定を持つ学生でも79.5%が不安を感じているという実態が明らかになりました。特徴的なのは、不安の中身が「選考に落ちること」ではなく、「やりたいことが分からない」「何から手をつければいいか分からない」という、方向性や進め方の迷いに集中している点です。早期化によって長期化する就活の中で、友人やSNSを通じて他者と自分を比べる機会が増え、焦りが強まる構造がうかがえます。

企業選びの軸においては「仕事内容」が最多となり、その理由として「無理なく健康に働き続けたい」や「プライベートを充実させたい」が上位に挙がりました。単なる待遇だけでなく、自分らしく長く働き続けられる環境を重視する価値観が鮮明になっています。

また、志望度が高まる制度として「リスキリングの機会」や「社内公募制度」が上位に挙がったことは、現段階ではまだ自分に合う仕事ややりたいことが分からないという不安の表れといえます。学生が抱える不安の構造を踏まえ、入社後にキャリアを選び直せる余地を具体的に示していくことが、納得感のある意思決定を後押しすることにつながるのではないでしょうか。

◆手賀 亮汰氏・プロフィール
キャリアチケット事業本部 本部長

早稲田大学卒業後、マーケティング部に配属。現在に至るまでに複数の新規事業の立上げに参画し、プロダクトマネージャーやマーケティング責任者、事業部長を歴任。2023年よりキャリアチケット事業本部 本部長に就任。



＜調査概要＞

調査対象：2028年卒業予定の大学生・大学院生
調査年月：2026年9月3日～7日
調査方法：インターネット調査
回答者数：359名
調査主体：レバレジーズ株式会社
実査委託先：外部調査会社
※調査結果の詳細はこちら（https://careerticket.jp/media/article/2870/）からご確認いただけます。

キャリアチケット就職（ https://careerticket.jp/ ）
キャリアチケット就職は、新卒学生向けのキャリア支援サービスを展開しています。エージェントやスカウトサービスを軸に、一人ひとりに寄り添ったキャリア支援を重視し、学生と企業の最適なマッチングを追求。就職活動の早期化・複雑化が進むなか、あらゆる学生が納得感のある選択をできるよう、手厚いサポートを提供しています。

レバレジーズ株式会社（ https://leverages.jp/ ）
本店所在地 ： 東京都渋谷区渋谷二丁目24番12号　渋谷スクランブルスクエア24階 /25階
代表取締役： 岩槻　知秀
資本金　　：5,000万円
設立　　：2005年4月
事業内容　：IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業、SaaS事業、M&Aコンサルティング事業 など

「社会課題の解決」を軸に、IT、医療・ヘルスケア領域をはじめとした人材事業・SaaS事業、M&Aコンサルティング事業など、国や業界をまたいだ様々な領域でサービスを展開。2005年に創業以来、黒字経営を継続し2025年度は年商1700億※を突破しました。業界を絞らないポートフォリオ経営と、各分野のスペシャリストが集うインハウスの組織体制で、時代を代表するグローバル企業を目指します。※会計基準変更後

本リリースに関する報道関係のお問い合わせ
レバレジーズ株式会社　広報部
TEL：03-5774-2900　MAIL： pr@leverages.jp